



こんにちは ひぐち英明です

424号 2022年9月18日 連絡先：日本共産党左京地区委員会 Tel761-6341
左京生活相談所 Tel781-6622

ホームページ：ひぐち英明 検索

仕事をいのち・暮らしに希望を

まちづくり公開講座を開催 住み続けられる住宅政策への転換を



共産党市議団が主催して、住宅政策を学ぶ公開講座を開催。国の住宅関連の予算が極端に少なく、しかも、持ち家への

対策ばかりで、賃貸住宅への対策が全く不十分。安心して住み続けられる住宅政策への転換が必要で



比叡山から東山の山林は大変荒れており、山すそ一帯は、この間の大雨で住宅地での浸水被害だけでなく、土砂の流出による被害を多発させています。浸水被害は、北大路通のエイデン踏切付近でも発生するなど、広範な地域に及んでいます。

共産党として京都府へ申入れ行う

左京区での豪雨対策・山林保全対策を

や京都府に対して申し入れも行っていきます。そこで、共産党左京地区委員会としても、左京区各地の被害の対策、そして、そのおおもとにある荒廃する山の対策を早急に行うよう、京都府に申し入れを行いました。

府の担当者の方は、一乗寺松原町での土砂流出に関しては、応急対策を始めていること、さらに、全体的な対

市長への申し入れ・街頭で訴え

国葬の中止・弔意の強要やめよ

こくた衆院議員と府市会4人で宣伝

市長に申し入れ



安倍元首相の国葬に対して、国に求めること、市

民に弔意を強制しないこと、市長は国葬に参加しないことなどを求める要望書を提出しました。また、こくた衆院議員と左京選出の共産党府市会議員4人が求めて左京各地で宣伝、街頭から激励が相次ぎました。

写真トピックス

敬老乗車証を守るようにと宣伝



↑憲法をいかした政治へ転換しよう
と宣伝

ひぐち英明 ホッとコム

夏休みに次女(高校3年)が岡山から京都に帰省してきていた時のこと。妻がトイレの電気をつけっぱなしにしていたら、次女が「お母さん、またつけっぱなしじゃ」と指摘。妻は「お母さんには、そういう機能がついていないねん」と開き直っていました。

3人の子どもがまだ小さいころ、「このラジカメ子どもには扉を閉めるという機能がついていない、扉の向こうにある世界のことって頭がいっぱいだから」という言葉を紹介したことがあります。

今はその立場が逆転して、親が子どもに指摘されるようになってきました。はたして妻は、電気をつけたまま、その向こうの世界のいったいどんな「心」を奪われているのでしょうか。

さて、先週の口喧嘩、沖繩知事選挙が行われ、デー玉城知事が勝利。辺野古への新基地建設の審判がまたもや下されました。ところが、岸田政権は選挙結果が出た直後に、辺野古への基地建設を進める考えを表明。岸田首相にも、国民の声を聞く機能はないのでしょうか。

しかし、あきらめるわけにはいきません。沖繩への基地の押し付け、さらに日本への基地の押し付けは許さない、との運動を大きく広げ、米軍基地のない安全な日本を一緒につくっていきましょう！